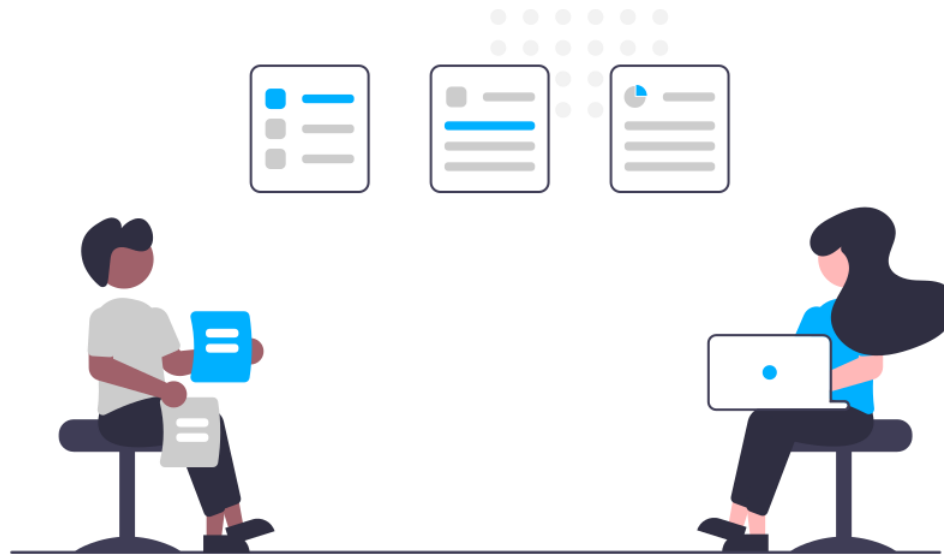


利用者が運動をしたくなる フィードバックのコツ



突然ですが…

このような状況で、あなたはどのようにフィードバックをしますか？



準備なしに、的確なフィードバックをすることは難しいでしょう。

今回は、利用者様が運動をしたくなるようなフィードバックのコツをご紹介します。

フィードバックをする際に押さえるべきポイント

フィードバックをする際に押さえるべきポイント

1

フィードバックの目的を明確にする

2

数字で変化を具体的に伝える

3

次回以降もサービスを受ける理由付けをする

4

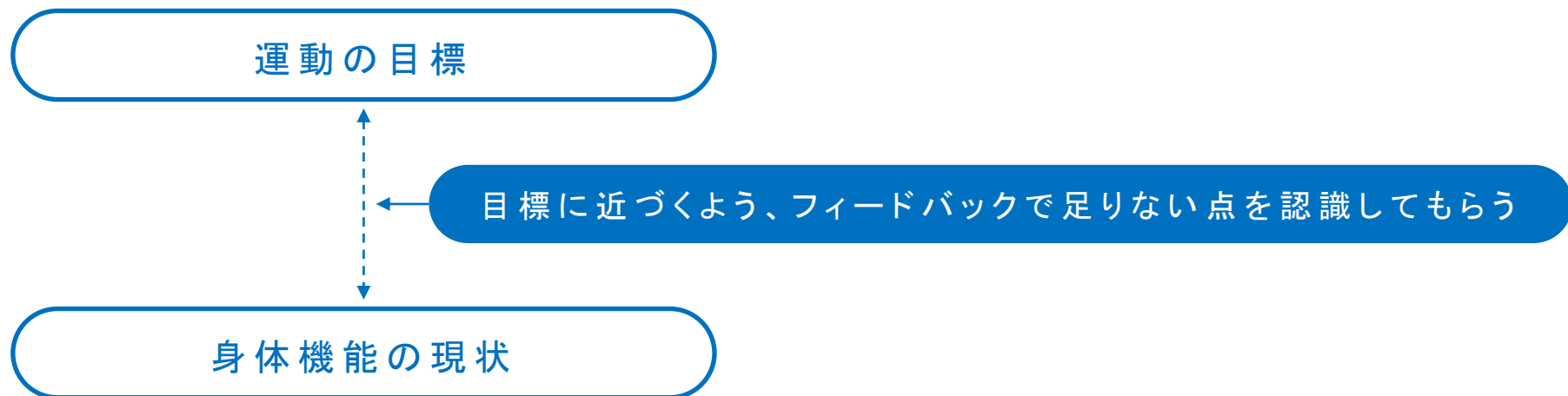
他の職員にも一目で伝わるように記録を残す

フィードバックをする際に押さえるべきポイント

1

フィードバックの目的を明確にする

フィードバックで伝えるべき内容は、**フィードバックの目的から逆算して考える必要があります。**
何のためにフィードバックをするのか、その結果利用者様にどのようなになってもらいたいのかを
明確にしましょう。



フィードバックをする際に押さえるべきポイント

2

数字で変化を具体的に伝える

フィードバックを通じて利用者様の運動への意識を変えるには、**数字によってこれまでの変化と目標までの差分を示すこと**が有効です。

抽象的なフィードバックでは、新たな気付きや具体的な改善案が生まれにくいため、**定量的に伝えることを意識しましょう。**



フィードバックをする際に押さえるべきポイント

3

次回以降もサービスを受ける理由付けをする

利用者様に運動の目標を達成してもらうには、継続的に運動していただくことが重要です。前回から変化した点や改善点と併せて、継続して運動するメリットや止めた場合のデメリットも伝えることで次回以降も通う理由付けができます。



フィードバックをする際に押さえるべきポイント

4

他の職員にも一目で伝わるように記録を残す

担当職員がお休みで、他の職員がフィードバックを担当する場合もあるでしょう。前回までの結果がわかりやすく記録されていないと、精緻なフィードバックが難しくなります。他の業務で多忙な時にもすぐ理解してもらえるように、紙だけでなく動画や写真も活用し
視覚的にわかりやすく記録することがオススメです。



より簡単に、よりわかりやすいフィードバックを実現するツールのご紹介

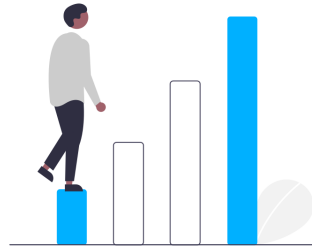
より簡単に、よりわかりやすいフィードバックを実現するツールのご紹介

このようなことができれば、より簡単にわかりやすいフィードバックを実現できると思いませんか？

前回よりも10点上がっていますね！
1つ目の目標達成です！



〇〇さんの歩行状態は70点です！



こんなに良くなっているとは思わなかった！

始業前の5分間で今日担当する〇〇さんの
動画とレポートを見ておこう！



歩行分析AI「トルト」のご紹介



動画を「撮る」だけで伝わる、
「提案」の質が変わる。

歩行分析

情報共有

- ・誰でも簡単スマホ1つで測定が可能
- ・歩容や転倒リスクの評価を数値化
- ・誰もがわかるシンプルなレポートにより
意識変容や行動変容が促される

- ・歩行動画とレポートは、ケアマネや
利用者様、家族へ簡単に共有可能



まとめ

フィードバックをする際に
押さえるべきポイント

- ①フィードバックの目的を明確にする
- ②数字で変化を具体的に伝える
- ③次回以降もサービスを受ける理由付けをする
- ④他の職員にも一目で伝わるように記録を残す



トルト でフィードバックをすると

定量的に経時比較ができるため、変化を実感しやすい

わかりやすい動画とレポートで、利用者様や他の職員にも一目で歩行状態が伝わる



わかりやすいフィードバックを実現したトルト導入事例



グループ内で歩行評価を統一・共有したことで入所中、退所後でも利用者の最適なサービス提案を実現！

医療法人燦生会 介護老人保健施設 フルリールむかわ



利用者の理解が深まり、歩行時の姿勢意識・満足度向上！

社会福祉法人北養会 コミュニティガーデンさくら

※ 導入事例のタイトルをクリックすると、トルト公式HPへ遷移し導入事例の閲覧が可能です。